



2026年 9 月30 日

各 位

会 社 名	イリソ電子工業株式会社
代表者の 役職氏名	代表取締役社長 鈴 木 仁 (コード番号：6908)
問合わせ先	取締役執行役員 池田 修一 管理本部長
電話番号	045-478-3111 (代表)

**(再訂正・数値データ訂正)「2026年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正に関するお知らせ**

当社は、2025年 8 月 4 日に開示し、2025年11月 5 日に訂正いたしました「2026年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日（2026年 9 月30日）付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後のみ全文を添付し、訂正の箇所には下線____を付して表示しております。

以 上



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月4日

東

上場会社名 イリソ電子工業株式会社
コード番号 6908
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長
配当支払開始予定日 —

上場取引所
URL <https://www.irisoele.com/jp/>
(氏名) 鈴木 仁
(氏名) 大浦 信一郎 TEL 045-478-3111

決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	15,187	20.4	940	169.8	1,044	2.6	476	△18.1
2025年3月期第1四半期	12,616	△2.0	348	△62.9	1,017	△35.6	581	△53.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △805百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 3,790百万円(1.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	22.32	—
2025年3月期第1四半期	24.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	89,873	66,416	73.9
2025年3月期	90,333	69,900	76.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 66,413百万円 2025年3月期 69,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,000	6.6	2,600	20.2	2,600	40.1	2,000	58.6	95.33
通期	55,000	△2.5	5,500	0.9	5,400	△3.0	3,900	55.2	188.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2024年11月5日開催の取締役会決議に基づき、2025年10月31日を期日とする上限2,000,000株の自己株式取得を予定しております。業績予想における1株当たりの当期純利益につきましては、当該取得の影響を考慮し算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.7「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	24,460,879株	2025年3月期	24,460,879株
2026年3月期1Q	3,110,374株	2025年3月期	3,006,274株
2026年3月期1Q	21,353,106株	2025年3月期1Q	23,465,927株

- (注) 「役員報酬BIP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、サービス業が下支えをしているものの、アメリカの関税政策により不確実性が増しました。

当社グループの主要事業領域である自動車市場でも、アメリカの関税政策の影響で先行きは不透明さを増していますが、当第1四半期連結累計期間においては、中国で政策の後押しにより、中国自動車メーカーの生産・販売が堅調に推移しました。

このような事業環境の中、売上高は、主に自動車向けのモビリティ市場において、自動車内で扱われる情報量の増加に伴うインフォテインメント分野での高速伝送対応BtoBコネクタの需要の堅調さと、xEV（EV、FCHV、PHV、HEV）向けのパワートレイン分野で中国地域が好調さを維持していることにより、前年同期比19.0%増加しました。コンシューマー市場では、アメリカの関税政策を見据えた前倒しの発注影響によりゲーム機向けの需要が一時的に増し、前年同期比13.2%増加しました。インダストリアル市場では一部のFA機器向けの回復と、エネルギーマネジメント分野向けの拡大により、前年同期比93.0%増加しました。以上により、売上高は前年同期比20.4%増の151億8千7百万円となりました。

利益面では、原材料価格高騰等の影響を受けたものの、前期第1四半期は新ERPシステム立上げに向けた関連費用が発生したこともあり、営業利益は前年同期比169.8%増の9億4千万円、経常利益は前年同期比2.6%増の10億4千4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比18.1%減の4億7千6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(2025年3月末)に比べ、4億6千万円減少し、898億7千3百万円となりました。主要要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が13億6千5百万円増加、商品及び製品が6億6千4百万円減少したことによるものであります。

負債は、運転資金として短期借入金を増加させたこと等により、前連結会計年度末に比べ30億2千3百万円増加し、234億5千6百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益による増加4億7千6百万円、配当による減少21億4千5百万円、為替換算調整勘定の減少11億円により前連結会計年度末に比べ、34億8千4百万円減少し、664億1千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想につきましては、直近の業績並びに為替動向等を踏まえ、現時点で当社が入手可能な情報に基づき算定し、開示することといたしました。

また、通期の連結業績予想につきましては、2025年5月7日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,335	24,360
受取手形、売掛金及び契約資産	12,777	14,143
商品及び製品	8,782	8,118
仕掛品	32	52
原材料及び貯蔵品	3,944	3,763
その他	1,616	1,701
貸倒引当金	△22	△134
流動資産合計	51,466	52,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,515	10,222
機械装置及び運搬具（純額）	13,789	13,400
工具、器具及び備品（純額）	4,144	4,065
土地	1,890	1,867
建設仮勘定	3,261	3,443
有形固定資産合計	33,601	33,000
無形固定資産		
ソフトウェア	2,728	2,574
のれん	60	53
その他	13	4
無形固定資産合計	2,802	2,632
投資その他の資産		
投資有価証券	276	285
繰延税金資産	1,459	1,220
その他	784	785
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	2,463	2,234
固定資産合計	38,867	37,867
資産合計	90,333	89,873

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,701	5,222
短期借入金	4,000	7,000
1年内返済予定の長期借入金	895	895
未払法人税等	580	581
賞与引当金	741	496
役員賞与引当金	94	21
その他	3,473	3,617
流動負債合計	14,486	17,834
固定負債		
長期借入金	4,426	4,187
退職給付に係る負債	416	381
その他	1,103	1,052
固定負債合計	5,946	5,622
負債合計	20,433	23,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,640	5,640
資本剰余金	8,045	8,164
利益剰余金	48,632	46,964
自己株式	△6,099	△6,361
株主資本合計	56,218	54,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99	105
為替換算調整勘定	12,880	11,779
退職給付に係る調整累計額	123	120
その他の包括利益累計額合計	13,103	12,005
非支配株主持分	578	2
純資産合計	69,900	66,416
負債純資産合計	90,333	89,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	12,616	15,187
売上原価	9,220	11,076
売上総利益	3,396	4,111
販売費及び一般管理費	3,047	3,170
営業利益	348	940
営業外収益		
受取利息	87	74
受取配当金	2	3
補助金収入	—	93
為替差益	598	—
その他	32	14
営業外収益合計	720	185
営業外費用		
支払利息	40	38
為替差損	—	26
デリバティブ評価損	2	—
その他	8	17
営業外費用合計	51	82
経常利益	1,017	1,044
特別利益		
固定資産売却益	0	7
国庫補助金	—	97
特別利益合計	0	105
特別損失		
固定資産除却損	57	22
減損損失	3	19
在外子会社における送金詐欺損失	36	—
特別損失合計	97	42
税金等調整前四半期純利益	920	1,106
法人税、住民税及び事業税	337	392
法人税等調整額	△36	258
法人税等合計	300	650
四半期純利益	619	455
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	37	△20
親会社株主に帰属する四半期純利益	581	476

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	619	455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	5
為替換算調整勘定	3,165	△1,263
退職給付に係る調整額	△2	△3
その他の包括利益合計	3,170	△1,261
四半期包括利益	3,790	△805
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,713	△789
非支配株主に係る四半期包括利益	76	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「無形固定資産」の「ソフトウェア仮勘定」は、金額的な重要性が乏しくなったため、当第1四半期連結累計期間より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「無形固定資産」に表示していた「ソフトウェア仮勘定」13百万円、「その他」0百万円は、「その他」13百万円として組み替えております。

(違法行為及び連結財務諸表の虚偽表示に関する対応について)

当社は、海外子会社において労務紛争対応に関連した不適切な金銭交付の疑義が生じたことから、2026年2月18日に外部の弁護士及び公認会計士を委員とする調査委員会を設置することを決定いたしました。

当該調査委員会によるデジタル・フォレンジック調査の過程で、会計処理及び品質検査等に関するコンプライアンス上の問題の存在を疑わせる事象が新たに認識されました。このため、当社は2026年4月27日に、調査範囲を拡大し独立した調査を実施する目的で第三者委員会を設置することを決議し、2026年9月28日に第三者委員会から調査報告書を受領いたしました。

第三者委員会の調査の結果、海外子会社での不適切な金銭交付等の疑いに加え、当社における品質管理・品質保証に関するデータ改ざん等の事象のほか、海外子会社における未確定の決算数値の使用、複数の海外子会社における売上の前倒し計上、並びに当社及び海外子会社における棚卸資産及び固定資産に関する損失計上の遅延等、複数の会計処理に関する疑義が識別され、不適切な会計処理を含む多数の虚偽表示が判明いたしました。これを受け、当社は、これらの事象について法的評価を含め財務報告への影響を検討したうえ、連結財務諸表を訂正することといたしました。なお、今回の訂正にあたっては、訂正の原因となった事象を連結財務諸表に反映した結果として影響を受ける事項、重要性がないため訂正を行っていなかった事項の訂正も併せて行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧州	北米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,810	6,950	2,314	1,540	12,616	—	12,616
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,814	5,388	—	△1	13,201	△13,201	—
計	9,625	12,338	2,314	1,539	25,818	△13,201	12,616
セグメント利益又は損失(△)	1,263	403	△166	98	1,597	△1,248	348

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の「調整額」△1,248百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△938百万円及び棚卸資産の調整額等△309百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧州	北米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,567	9,082	2,440	1,097	15,187	—	15,187
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,732	5,878	—	—	13,611	△13,611	—
計	10,299	14,961	2,440	1,097	28,799	△13,611	15,187
セグメント利益又は損失(△)	1,056	1,283	66	△46	2,359	△1,419	940

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の「調整額」△1,419百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△778百万円及び棚卸資産の調整額等△640百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,775百万円	1,539百万円
のれんの償却額	7百万円	7百万円